

●「山の木を伐採しよう」

ディーエスエスは、一番心配な水害対策は、愛知県の「雨水浸透阻害行為許可等についての基準」で、町や県と相談して、調整池を建設していく方針を示しました。

この基準に基づき、道根・導入地区、瀬木田地区、奥遠廻間地区、口鈴ヶ谷地区それぞれで調整池・排水計画を示しました。また、すでに丸裸にしまった山ののり面の対応についても、県の基準に準じ、7m程度の小段を切り土・盛り土に合わせて排水溝等で対応していくと説明しました。

参加者からは、「内海川は洪水になることもあるので、単に山の排水計画だけを考えるのではなく内海川に流れる水の量の関係も配慮すべき」との懸念の声が上がりました。

また道根・導入地区で無断侵入された土地の被害者からも「埋められた後、排水がでずに水がたまっている」と心配の声があり、対応していききたいと回答しました。



道根・導入地区(2022.2.9)

●「山に植える木の種類」

ディーエスエスは、はげ山にしてしまった里山の復旧計画として、奥遠廻間約2万2千㎡、道根・導入・桐木の約1万5千㎡、瀬木田の約1万6千㎡の植林、緑化計画を示しました。緑化の基本は、クラピアをのり面に植栽シートを利用して貼り付け、土砂の流出を防ぐようにしていくとの方針を示しました。

参加者からは、「クラピアを植えると元の山の植生が変わるのではないか」「クラピアは冬は枯れて茶色の景色になってしまうのではないか」「ウバメガシの根が残っていればまた芽が出てくるので、抜根はしないでほしい」等の質問がありました。業者は「確かに枯れる問題がある。もっといいものがあったら今後も考えていきたい」「奥遠廻間の伐採した木々は抜根しない」との姿勢を示し、住民の声を聞きながら、植林や緑化をしていきたいと述べました。

のり面に植える「クラピア」とは(業者資料より)

- ①繁殖スピードが芝の10倍
- ②雑草を抑制する
- ③土壌流出防止
- ④多年生植物
- ⑤耐塩性
- ⑥不稔性種子



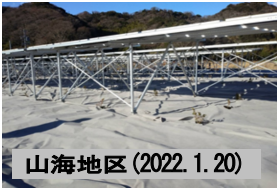
として「70度の急斜面でも崩れにくいウバメガシとスイセンを植えてほしい」「『ようこそ南知多町』の看板も出したらどうか」「スーパーマーケットや桜公園、キャンプ場にしたらどうか」等の声があることも示しました。

●「無断伐採の土地」

無断伐採や不法侵入された土地は約9千㎡、17件にも上るとのことです。山を荒らされた方については、どんな木(スギ・ヒノキ・マツ・コナラ・アベノキ・ウバメガシ等)を植林、植栽するのか、個別に相談していく方針を示しました。

●「農業を真剣にやる気はあるのか」

「本気で農業をやる気があるのか」との質問も出されました。ディーエスエスは「農業計画は、南知多町・美浜町に提出してあるが、現在の計画では、花木を栽培する計画である。農業法人の経験は4年しかないで、まだ未熟である。ソーラーシェアリングは、全国でも成功事例をいくつも知っているのか本格的にやれるようにしたい」と述べました。



山海地区(2022.1.20)

しかし、参加者からは「太陽光パネルと合わせたソーラーシェアリングは、専門の農業者が入って営農型発電にすべきである」との厳しい意見が出ました。

●「廃棄物処理は」

三重県での廃棄物処理の不適切事例もあり、一南知多町でもまだ伐採した木々を埋めている可能性もあるので、誠実に処理していきたい」とも述べました。

●「企業は社会的責任を果たし、町は再生政策を確立して安心して住める町づくりを」

最後に、参加者から全体を通じたの意見がありました。

「土地を売った地権者は、先祖から受け継いだ土地を引き継がない等の事情もあるにせよ、再生エネルギーの太陽光発電なら社会の役にも立つという思いで手放している。この会社の手法はこういった方の気持ちを踏みにじるものと言わざるを得ない。会社はこれらの方々々に謝罪し、水害や土砂災害等に対する住民の不安、土地の被害に対する補償などに応えてほしい。2030年のエネルギー問題は個人の課題でなく、国や自治体の課題でもある。」



口鈴ヶ谷地区(2022.2.9)

南知多町でも今回のことを考え、再生政策を確立する必要があるのではないかと、住民が安心して住める町についてほしい」

●「誓約書をポーズにするな」

最後にディーエスエスは、町長に誓約書なるものを渡すという、マスコミ向けとも思われる誓約書を石黒町長へ直接手渡しました。

＜誓約書の主な内容＞

- ◆ 損壊した町道を復旧する。
- ◆ 水害対策を町・県と協議して取り組む。
- ◆ 復旧については法令遵守で対応する。
- ◆ 被害者には誠意をもって和解に努める。
- ◆ 誓約書には誠意をもって和解に努める。
- ◆ 誓約書にない事項以外にも寄せられた意見に対しては誠意をもって対応する。

はたして、ディーエスエスは、本当にコンプライアンスを守る企業なのか？パフォーマンスだけの会社なのか？これから私たち町民みんなで厳しく監視していきますよ。

第2回住民説明会はコロナまん延防止措置中でしたが、140人を超える住民が参加しました。

今後、町には環境破壊をおこさないための条例を制定し、業者の誓約書の実行を監視することを求めます。